

第3次札幌市子どもの読書活動推進計画

「さっぽろっこ読書プラン(案)」

に対するご意見の概要と札幌市の考え方について

平成27年(2015年)11月

札幌市

目 次

1	意見募集の概要	1
2	パブリックコメント（注）の内訳	2
3	パブリックコメントに基づく当初案からの修正点	3
4	パブリックコメントに寄せられたご意見と札幌市の考え方	4
5	キッズコメント（注）の内訳	8
6	キッズコメントに基づく当初案からの修正点	9
7	キッズコメントに寄せられた主なご意見と札幌市の考え方	9

注：パブリックコメント：一般向け意見募集

キッズコメント：小学生及び中学生向け意見募集

1 意見募集の概要

(1) 意見募集の趣旨

札幌市では子どもの読書活動に関わる施策を総合的かつ計画的に進めるため、平成17年から「札幌市子どもの読書活動推進計画」を策定し、2期10年にわたって、家庭・地域、図書館、学校等の社会全体で、さまざまな読書推進の取組を行ってきました。このたび、第2次計画期間の終了に伴い、第3次となる「さっぽろっこ読書プラン」の計画案を取りまとめ、この計画を多くの市民の皆さまと共有し、市民の皆さまのご意見を取り入れた計画とするため、意見募集を行いました。また、主に子どもを対象とした計画であるため、小学生・中学生用資料も作成し、子どもたちへの意見募集も行いました。

(2) 意見募集期間

平成27年(2015年)10月1日(木)から10月30日(金)(必着)まで

(3) 意見提出方法

郵送、持参、ファクス、電子メール、ホームページの入力フォームからの送信

(4) 資料の配布場所

ア パブリックコメント(一般用)資料

- ・中央図書館、地区図書館等の各図書施設
- ・市役所2階市政刊行物コーナー
- ・各区役所総務企画課広聴係
- ・各まちづくりセンター
- ・札幌駅前通地下歩行空間(北3条広場(東)、北大通広場(西))
- ・市民活動サポートセンター

※ 別途、市立小・中・高等学校に配布

イ キッズコメント(小学生・中学生用)資料

- ・中央図書館、地区図書館等の各図書施設
- ・市役所2階市政刊行物コーナー
- ・各区役所総務企画課広聴係
- ・各児童会館

※ 別途、市立小・中学校に配布

(5) 意見募集の周知方法

- ア 広報さっぽろ平成27年10月号に掲載
- イ 札幌市公式ホームページに掲載
- ウ 市長記者会見での周知
- エ 札幌駅前通地下歩行空間の大型ビジョン放映
- オ さっぽろ市民参加メールマガジンでの情報発信

2 パブリックコメントの内訳

(1) 意見提出者数・件数

ア 意見提出者数：17人

イ 意見数：30件

(2) 意見提出者の提出方法の内訳

区分	郵送	持参	ファクス	電子メール	ホームページ	その他	合計
提出者数	4人	1人	3人	0人	2人	7人	17人
意見数	14件	1件	3件	0件	4件	8件	30件

(3) 意見内容の内訳（計画案の構成に沿って分類）

分類	件数(件)	構成比(%)
全体に対する意見	1	3.3
第1章 計画の策定にあたって	0	0.0
第2章 子どもの読書活動の現状と課題	1	3.3
第3章 計画の基本的な考え方	1	3.3
第4章 子どもの読書活動推進のための方策	26	86.7
第1節 子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の充実	(13)	(43.3)
第2節 子どもの読書活動に関する普及・啓発	(2)	(6.7)
第3節 子どもの読書環境の充実	(11)	(36.7)
第5章 計画の効果的な推進	0	0.0
資料編	1	3.3
その他の意見	0	0.0
合計	30	100.0

※構成比の値は四捨五入しているため、合計値が100.0%にならない場合があります。

3 パブリックコメントに基づく当初案からの修正点

市民の皆さまのご意見を基に、当初案から4項目の修正、追記などを行いました。なお、下表には掲載しておりませんが、文言の修正等に関するご意見につきましても、別途計画に反映しております。

No.	修正箇所のページと項目	意見の概要	
		修正前	修正後
1	P10～11 第2章 3 (3)学校等における取組の成果と課題	○ 学校図書館の運営や環境整備の主体はあくまでも学校であり、学校図書館アドバイザーや学校図書館ボランティアは主体ではないので、表現を修正してほしい。	
		《P10 31行目～》 …学校に学校図書館アドバイザーや学校図書館ボランティアが派遣され、学校図書館の運営や環境整備を行いました。	● …学校に学校図書館アドバイザーや学校図書館ボランティアが派遣され、 <u>学校図書館の運営や環境整備の一助となりました。</u>
2	P18 第4章 第1節 2小学生期における読書活動の推進	○ 一斉読書を実施している学校の増加だけでなく、その方法も含めた「一斉読書の充実」がこれからの課題ではないか。一斉読書のあり方についてさらに現状把握に努め、ぜひ充実を目指していただきたい。そのため、p18「取組項目」5の「一斉読書を実施します。」を「一斉読書を実施し、その充実を図ります。」と変更してほしい。	
		《取組項目 5》 各学校における始業前や教科の時間を使った一斉読書を実施します。	● 各学校における始業前や教科の時間を使った <u>一斉読書を実施し、その充実を図ります。</u>
3	P20 第4章 第1節 3中学・高校生期における読書活動の推進	○ 学校司書が配置されればそれでよいのではなく、せっかく配置された学校司書が働きやすくなるためにも、司書教諭の働きは重要である。学校図書館に関する教育の推進役であり、コーディネーターでもある司書教諭について言及してほしい。	
		《取組項目 3》 …また、教員と学校司書が連携して学校図書館を活用した学習を行い、その取組内容を共有していきます。	● …。また、 <u>司書教諭をはじめとした教員と学校司書が連携して、学校図書館を活用した学習を行い、その取組内容を共有していきます。</u>
4	P21 第4章 第1節 3中学・高校生期における読書活動の推進	○ 中学校・高等学校図書委員会（図書局）による特色ある取組発表については、発表内容が発表校以外にあまり知られていない。このため、中学校・高等学校に発表内容を周知し、さらにこの取組が盛り上がるよう取り組んでほしい。	
		《取組項目 4》 図書委員会（図書局）による読書活動を充実させるための特色ある取組の発表及び表彰を通して、図書委員会活動の活性化を図り、生徒の読書活動を促進します。	● 図書委員会（図書局）による読書活動を充実させるための特色ある取組の発表及び表彰を通して、図書委員会活動の活性化を図り、生徒の読書活動を促進します。また、 <u>発表内容は教育委員会ホームページで紹介するなど、図書委員会（図書局）活動内容の共有が図られるよう努めます。</u>

4 パブリックコメントに寄せられたご意見と札幌市の考え方

ご意見の概要と札幌市の考え方は以下のとおりです。これらのご意見については、子どもの読書活動に関する施策を検討し、実施する際の参考といたします。なお、趣旨が同じご意見はまとめて掲載しております。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
全体に対する意見		
1	○ 大人が日常的に読書について子どもに話せばプランは必要ない。	● この計画では、子どもが自主的に読書活動ができる環境を整えるため、本が身近にある生活意識の醸成を図ることとしています。大人が積極的に子どもに読書経験を伝え、子どもと本について語りあうことは、この計画の目指しているところです。
「第3章 計画の基本的な考え方」に対する意見		
2	○ 基本方針1の1～3の施策にも障がいのある子どもへの取り組みが必要だ。	● この計画の構成上、基本方針1は発達段階ごとに施策を分けており、障がいのある子どもへの支援に関する施策については、基本方針3に位置付けしています。
「第4章 子どもの読書活動推進のための方策」に対する意見		
1 「子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の充実」に対する意見		
3	○ 乳幼児期の子どもにとっての読書は、読み手とのコミュニケーションや愛情体験に繋がりが、大切なことだと考える。このため、乳幼児期における読書活動の推進を行うことがとてもよいと思う。	● この計画においても、乳幼児期の子どもの絵本等を通じた読み手との心のふれあいを大切に考え、乳幼児期の子どもの読書活動を推進することとしています。
4	○ 認可保育園等に図書購入費用を補助するなど、保育園の蔵書を充実できるといいと思う。	● 私立認可保育所に対して支払いをしている運営費の中に、保育に必要な備品等の購入費用が含まれており、各保育所の保育方針のもと、図書やその他の保育備品を調達しています。 また、本市では絵本基金「子ども未来文庫」という事業を行っており、寄贈された絵本を公立保育所等に配布し、蔵書の充実を図っています。
5	○ 本や図書カードをプレゼントするといい。	● この計画にもありますが、札幌市では、10か月児健診の際に、絵本に親しむ機会を提供し、親子が心ふれあうきっかけをつくるため、絵本を配布し、絵本の読み聞かせを行っています。 また、札幌市には中央図書館をはじめ、市内45の図書施設があり、本や雑誌など、さまざまな資料を無償で貸出しています。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
6	○ 学校で配布されている図書館便りの裏面を活用し、本に興味のない人が興味を持てるよう、いろいろな分野の本の冒頭部分や面白い部分などを引用して紹介するといいい。そうすることで、本に興味を持つだけでなく、さまざまな分野の事柄に興味を持つことができると思う。	● いただいたご意見は具体的な取組を行ううえでの参考にいたします。
7	○ 小学校全学年で紙芝居授業を取り入れることを提案する。	● 学校によっては主に低学年で紙芝居を活用した授業等を行っています。具体的には、朝読書の時間に担任の先生が紙芝居を使って読み聞かせを行ったり、国語の授業で、児童が自分で紙芝居を作成したりするなどの活動を行っています。また、紙芝居ではありませんが、実物投影機やプレゼンテーションソフトを活用し、紙芝居と類似の学習活動を行っている学校もあります。
8	○ 学校司書の配置は有意義だ。今後、学校司書を増員し、将来的に縮小・廃止することがないようにしてほしい。	● 学校司書については、複数校を一人が担当する形で、全市立中学校への配置を段階的に進めていく予定です。
9	○ 中学校だけでなく、小学校にも学校司書を配置するか、ボランティアなどを活用して、小学校の読書活動を支えてほしい。	● 小学校への学校司書の配置は現在のところ予定はありませんが、学校図書館ボランティアの派遣・研修を引き続き進め、司書教諭と連携した、読書活動の充実に向けた取組を推進していきます。また、地域ボランティアの運営による学校図書館地域開放校の拡充にも取り組んでいきます。
10	○ 司書教諭が図書の購入や選定について、気軽にいつでも相談できる窓口があるといいい。	● この計画では、図書館と学校が連携し、学校の読書活動や学習活動を支援するため、図書館において、司書教諭等からの司書実務に関する相談に応じることにしています。
2 「子どもの読書活動に関する普及・啓発」に対する意見		
11	○ 本の良さを伝え、読書についての広報・啓発を行う。	● この計画では、読書活動に関する普及・啓発に努め、読書活動を推進する市民意識の醸成を図ることにしています。
12	○ テレビやスマートフォンなどが子どもの脳の発達等に与える影響について伝え、社会全体で考える機会があるといいい。	● デジタルコンテンツを利用する際の注意点を十分伝えながら、デジタル絵本などを活用したデジタルネイティブ世代への読書活動の普及・啓発を行う必要があると考えています。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
3 「子どもの読書環境の充実」に対する意見		
13	○ 市で行うボランティア向けのセミナーは初心者向けなので、長年活動している人にとっても魅力のあるものも考えて欲しい。ボランティアグループの交流が図れるよう、活動内容の資料やパネル展、読み聞かせイベント、交流会などを実施し、それぞれのグループがいろいろな場所で活動したり、協力し合ったりできる機会を作ってほしい。	● ボランティア向けセミナーについては、初心者向けのほかに経験者向けなど、ボランティアの方々のご意見を聞きながら、能力向上に役立つ研修を行っていきたいと考えています。また、ボランティア同士の交流を行う機会についても検討いたします。
14	○ ボランティアの確保策も考えなければならない。	● この計画においても、ボランティアの確保は課題であると認識し、ボランティアの育成のため、研修を実施することとしています。
15	○ p25 3 絵本基金「子ども未来文庫」事業について、個人で絵本の寄贈を希望する場合の方法について、学校で案内を配布するなど、わかりやすくしてほしい。	● 事業を市民の皆さまに広く周知できるよう、札幌市公式ホームページや広報さっぽろなどに掲載しておりますが、さらにわかりやすい周知方法等について検討いたします。
16	○ 子どもが本を好きになるためには、まず、親が本の大切さに気付くことが必要だ。家庭での読書活動が重要だと思う。	● 子どもが乳幼児期から本に触れ、本に親しむ機会をつくるためには、家庭での読書活動が大切だと考えています。この計画では、家庭での読書活動の普及・啓発を行うこととしています。
17	○ p26 5.学校図書館の地域開放の促進について、学校図書館の地域住民への開放は、大人向けや幼児向けの蔵書を増やしたり、運営を行うボランティアが必要になったりと費用や時間がかかるのではないかと。近隣で開放を行っている学校での地域住民の利用は少ないようで、促進ばかりではなく、現状調査などを行い、地域開放が本当に必要かどうか考えてもらいたい。	● 学校図書館の地域開放は、読書を通じて子どもと地域の読書活動の推進と相互交流を図ることを目的としています。 地域開放の実施校より報告を受けている図書の利用状況や地域ボランティアの参加状況等を踏まえ、各学校の運営委員会と連携しながら、より地域に開かれた活動となるように進めていきたいと考えています。
18	○ デジタル図書（例えば、マルチメディアDASY図書など）の整備のほか、市内図書館、学校図書館で利用できるブースを設置してほしい。	● 札幌市では電子図書館を整備し、電子書籍の貸出を行っています。中央図書館には電子書籍が閲覧できるスペースがあるほか、電子図書館はお手持ちのパソコンやタブレット端末、スマートフォン等から利用できます。今後も、障がいのある方など、紙の本を用いた読書が難しい方々も利用しやすい電子書籍の収集などを検討していきます。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
19	○ 障がいのある子どもはもちろんのこと、家庭環境や発達において配慮が必要な子どもたちの読書活動のニーズに応える環境整備が必要である。(例えば、拡大読書器などの補助具、デジタルや多言語の資料、手話、外国語のサービスの提供など)	● 障がいのある子どものほか、配慮が必要な子どもも含め、子どもたちが本の楽しさに触れ、読書に親しむための環境づくりに努めます。
20	○ 小学生のうちから、学校図書館の利用が進むようにするほか、図書館見学などを行うなどして、図書館の利用方法やマナーなどを学習し、土・日の利用や大人になっても図書館を利用できるように読書環境を整えてほしい。	● この計画では、学校図書館の利用促進を行うほか、学校と図書館との連携を進め、図書館の利用方法や資料を使った調べ方などのガイダンスを行うこととしています。また、図書館で施設見学や職場体験、調べ学習などの受入を進めます。
21	○ 学校図書館を休日にも開館するといい。	● 学校図書館の運営は、学校の教育活動に位置付けられています。休日は基本的に教育活動を行う日とされていませんので、開館は難しいと考えます。
22	○ 学校図書館や学年・学級文庫の蔵書を充実させてほしい。	● 教育委員会では、各学校における蔵書の整備状況を把握し、それに応じて図書購入のための予算を配当しております。限られた予算の中で、まずは学校図書館の蔵書を優先して整備を行っているところです。
23	○ 学校では、調べ学習に適し、発達段階に合った本の整備を意識する必要があると思う。子ども自身が本で調べることの良さを実感できるように関わっていくことが大切だ。	● 各学校では、読書活動や学習活動の状況に応じて、学校図書館の選書をしています。
資料編に対する意見		
24	○ p35 を見ると、小さい頃の読み聞かせと学校の読書の時間が、読書好きになるきっかけとして大切だということが分かった。	● この計画では、アンケート調査の結果も踏まえ、引き続き、読み聞かせなどの乳幼児期の読書活動、学校における一斉読書などに取り組むこととしています。

5 キッズコメントの内訳

(1) 意見提出者数・件数

ア 意見提出者数：397人

イ 意見数：570件

(2) 意見提出者の年代別内訳

学年	小学生						中学生			不明	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年		
提出者数	0人	3人	8人	8人	63人	121人	38人	86人	55人	15人	397人
意見数	0件	4件	11件	15件	83件	168件	62件	134件	83件	10件	570件

(3) 意見提出者の提出方法の内訳

区分	郵送	持参	ファクス	電子メール	ホームページ	その他	合計
提出者数	64人	4人	20人	1人	0人	308人	397人
意見数	99件	7件	29件	2件	0件	433件	570件

(4) 意見内容の内訳（計画案の構成に沿って分類）

分類	件数(件)	構成比(%)
全体に対する意見	28	4.9
第1章 計画の策定にあたって	0	0.0
第2章 子どもの読書活動の現状と課題	5	0.9
第3章 計画の基本的な考え方	1	0.2
第4章 子どもの読書活動推進のための方策	492	86.3
第1節 子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の充実	(206)	(36.1)
第2節 子どもの読書活動に関する普及・啓発	(124)	(21.8)
第3節 子どもの読書環境の充実	(162)	(28.4)
第5章 計画の効果的な推進	0	0.0
資料編	0	0.0
その他の意見	44	7.7
合計	570	100.0

※構成比の値は四捨五入しているため、合計値が100.0%にならない場合があります。

6 キッズコメントに基づく当初案からの修正点

小学生・中学生の皆さまのご意見を基に、当初案から2項目の修正、追記などを行いました。

No.	修正箇所のページと項目	意見の概要	
		修正前	修正後
1	p 23	○ 子ども読書の日にどんなことを行うか具体的に書いたほうがいい。 ○ 子ども読書の日をアピールするといひ。	
	第2章 第2節 普及・啓発の推進	《取組項目3》 子ども読書の日（4月23日）に合わせて、全館で特別行事を行い、読書活動の啓発に努めます。	● 子ども読書の日（4月23日）に合わせて、 <u>市内の図書館全館で、読み聞かせや映画会、人形劇などの行事を集中的に行い、子ども読書の日の周知及び読書活動の啓発に努めます。</u>
2	p 59	○ 表紙のシンボルマークを使って読書プランをアピールするといひ。 ○ 表紙のシンボルマークを大きく使って紹介してほしい。	
			● 表紙の札幌市の子どもの読書活動推進計画のシンボルマークを紹介するため、最終の59ページに、シンボルマークと説明文を追加しました。

7 キッズコメントに寄せられた主なご意見と札幌市の考え方

小学生・中学生の皆さまの主なご意見と札幌市の考え方は以下のとおりです。今後の子どもの読書活動に関する施策を検討し、実施する際の参考といたします。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
全体に対する意見		
1	○ この計画に基づいて、読書を楽しめる環境をつくることは、とてもいいことだと思う。	● この計画に基づき、子どもが自主的に読書活動を楽しめる環境づくりに取り組んでいきます。
「第2章 子どもの読書活動の現状と課題」に対する意見		
2	○ 学年が上がると勉強に時間を取られて読書ができなくなると思う。 ○ 中学・高校生は本が嫌いだから本を読まないのではなく、塾や部活動などで、読む時間がないから読まないのだと思う。	● 中学・高校生になると勉強や部活動、友達付き合いなどで忙しくなるため、読書活動が減る傾向があるのだろうと思われます。この計画では、勉強や部活動を含め、中学・高校生が興味や関心のあることから、読書のきっかけづくりを行っていくこととしています。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
「第4章 子どもの読書活動推進のための方策」に対する意見		
1 「子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の充実」に対する意見		
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせは「1対1」で行う方が子どもにとっても聞きやすく、自分が感じたことも素直に言えると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 読み聞かせは、子どもが絵本を通じて、言葉や表現を学び、想像力や感性を養うことができるほかに、読み手との交流を図ることができるものです。ご意見のとおり、「1対1」での読み聞かせも大切ですが、集団での読み聞かせは、読み手との交流のほかに、一緒に体験した子どもたちの間で絵本の世界を共有し、みんなで楽しむ喜びを知る機会となり、「1対1」の読み聞かせとは異なる効果が得られるとされています。このため、「1対1」のほかにも、集団での読み聞かせの機会も必要だと考えています。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ インターネットで調べるので、調べ学習に図書館を利用する必要はないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● インターネットで調べる際に、同じ事柄でも調べたサイトによって説明が異なることがあったり、出典があいまいなことがあったりするため、調べる時はインターネットのほかに、辞書や事典、新聞、雑誌などから、さまざまな情報を収集して活用することが大切です。図書館には辞書や事典、新聞、雑誌などが揃っているほか、調べる方法を教えてくれる職員がいます。このため、図書館を利用して調べ学習をし、いろいろな情報を活用する方法を学ぶことは必要だと考えています。
5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学・高校生になると自分に合う好きな本が限られてくると思う。好きな本を見つける手助けをしたらよい。 ○ 一斉読書は良いと思うが、自分で本を用意すると自分が興味のある本ばかり読むことになって読書の幅が広がらないと感じる。図書館を使って、幅広い本を利用できるといいと思う。 ○ どの本を読んだらいいかわからないので、おすすめの本を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● この計画では、中学・高校生向けに、中学・高校生が興味や関心のある事柄から読書に関心を持ってもらえるよう、図書館にコーナーを設置したり、中学・高校生向けホームページを新設したりして、本に関する情報提供を行うこととしています。また、図書館における展示や図書館だよりなどを活用して本の紹介を行います。
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校には図書委員会(図書局)があるので、学校司書は必要ないと思う。 ○ 学校司書を学校に配置することは、本に興味を持ついい機会になる。 ○ 学校司書が学校に配置されてから、学校図書館がよくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校司書は本や図書館運営に関する知識や経験を生かして、学校図書館における読書活動や学習活動を充実させるために配置するものです。図書委員会(図書局)の皆さんとも一緒に、学校の読書活動の推進に取り組みます。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
2 「子どもの読書活動に関する普及・啓発」に対する意見		
7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館でイベントをきっかけに本を読む人が増えてほしい。 ○ 高校生にはイベントはつまらないのではないかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生も含め、子どもたちが興味や関心のある分野などから、行事などのさまざまな体験を通じて読書活動への関心を高め、読書の楽しみを知ってもらえるよう工夫に努めます。
8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子書籍など時代に合った本の提供をするのはいい。 ○ 電子書籍もいいが、紙の本に触れることも大切だ。 ○ パソコンやタブレット端末などの長時間利用は視力低下につながるおそれがあると思う。 ○ 端末を持っていない人もいるので、電子書籍に注目しすぎない方がいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● この計画では、デジタルネイティブ世代への読書の普及・啓発として、紙の本に加え、電子書籍の充実やデジタルコンテンツを活用した読書活動の推進に取り組むこととしています。電子書籍については、その特性を考慮しながら、読書活動の推進に活用していきたいと考えています。
9	<ul style="list-style-type: none"> ○ インターネットで分かりやすく興味が湧くような本に関する情報発信するといいい。 ○ 図書館のPRが不足していて、図書館のことがよくわからない。 ○ 図書館や本に関するプリントを幼稚園や学校等に定期的に発行するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● この計画では、「図書館だより」の内容の充実を図るとともに、図書館ホームページを活用した情報発信をすることとしています。子どもにも分かりやすく興味が持てる内容となるよう工夫に努めます。
10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書活動を啓発するために、この計画のパフレットを学校等に配布するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● この計画を市民や子どもたちに周知するため、概要を記したリーフレットを作成して学校を含め広く配布します。
3 「子どもの読書環境の充実」に対する意見		
11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小さいころから本に親しむために、(仮称)絵本図書館を設置するのはよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● (仮称)絵本図書館では乳幼児期から本に触れ、本に親しむ機会が増えるよう、子どもと保護者が気軽に読書を楽しめる取組を行います。
12	<ul style="list-style-type: none"> ○ もっと図書館を作ったらいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市では現在、45か所に図書施設を整備し、このうち41か所を電算と物流システムでネットワーク化し、インターネットや館内検索機で予約すると、どこでも貸出返却できるほか、電子図書館も開設し、市民の皆さまの利便性の向上を図ってきています。今後については、既存施設の運営経費や老朽化に伴う改修費用の増加を考慮すると、サービス拠点としての図書施設の増設は大変難しいものと考えています。
13	<ul style="list-style-type: none"> ○ どんな人にも読みやすく、いろいろな種類の本を揃えるとよい。 ○ 図書館や学校図書館に楽しい児童書をたくさん置いてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 限られた予算の中で本の整備を行っていますが、子どもの読書意欲を高めるため、今後とも幅広い分野の本の収集に努めたいと考えています。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
14	○ 家庭で読まれなくなった本を有効活用する取組をするとよい。	● この計画では、市民からの寄贈本を学校等で再利用する「さっぽろ本の再活用パートナーシップ事業」の利用促進を図っていくこととしています。
15	○ 学校図書館を朝や放課後に開館してほしい。	● 各学校の状況を考慮しながら、学校図書館の開館時間を拡大するよう取り組んでいきたいと考えています。
16	○ 障がいのある子どもも読書を楽しめるよう取組を行うのはよい。	● この計画では、障がいのある子どもも本を楽しめるよう点字絵本や大活字本、布の絵本、デジタル絵本など、さまざまな障がいに対応した本の収集に努め、図書館におけるサービスのあり方についての検討も進めることとしています。
読書推進のための具体的なアイデア		
17	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校高学年の子が小さい子どもたちに読み聞かせをしてあげたらいいと思う。 ○ 図書室は暗いイメージがあるので、季節ごとに飾り付け、オシャレになるように工夫する。 ○ 季節にあったしおりを作り、貸出・返却カウンターの近くに置いて、本を借りた人がしおりをもらえるようにする。 ○ 中学・高校生が読みたくなるような本を集めるため、アンケートを取ったらいいと思う。 ○ 読みたい本が見つかるように、同年代の子どもたちに人気の本などのあらすじ、感想などがわかるように本を紹介する。 ○ アニメやドラマ、映画の原作を集めて特集を組むなど、子どもの興味が湧きそうなものを積極的に取り入れたらいいと思う。 ○ 「集団読書」と銘打って、クラスで読書をして意見を交換し交流を図る取組を行う。 ○ 1カ月に読んだ本をシートに記入して、月に何冊か読むと粗品がもらえる取組をする。 ○ 各図書館をめぐるスタンプラリーをするとういと思う。 ○ 「図書館ウォークラリー」と題し、絵本のキャラクターを描いた紙を書棚に隠したうえで、それを見つけるゲームをし、楽しみながら絵本について知るきっかけとする。 	● いただいたご意見は具体的な取組を行ううえでの参考にいたします。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
17	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもが自分で書いたお話や4コマ漫画、絵本などを募集し、優秀者に賞を贈る。 ○ 紙の本の良さを広げるため、印刷工場を見学したり、本の歴史について勉強したりする機会を設けたらいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● いただいたご意見は具体的な取組を行ううえでの参考にいたします。

市政等資料番号

01-S03-15-1695

第3次札幌市子どもの読書活動推進計画「さっぽろっこ読書プラン(案)」
 に対するご意見の概要と札幌市の考え方について

平成27年(2015年)11月

札幌市教育委員会中央図書館運営企画課
 〒064-8516 札幌市中央区南22条西13丁目1-1
 TEL: 011-512-7330 FAX: 011-512-7110
 ホームページ: <http://www.city.sapporo.jp/toshokan/>